

午前の部 テーマ1. 学校事務運営計画について ～二本立て運営計画を考える～

1. 市事協研究グループは昨年、学校運営計画に係わるアンケートを行い、その結果を管内研に発表しています。その内容を再掲するので、あらためて、考えてみましょう。

Q：学校運営計画の見直しを検討している方にお伺いします。どのように見直しを検討しているのかを次の中から該当するものに丸を付けてください。その他に丸を付けた方は、その検討している内容についても記入してください。

回答①：2校 混在型を2本立てに変更していくことを検討している。

回答②：2校 混在型または2本立て学校事務運営計画の中に学校間連携会議で取り扱う学校の今日的な課題解決のとりくみについて記述していくことを検討している。

回答③：3校 混在型でも、分掌業務の内容を精査・吟味し、領域を取り組める（教職員の協力協働の組織体制が得られるような学校づくりの取り組みができる）ようなものに変更していくように検討している。

回答④：その他 A中学校：現在は混在型であるが、内容については毎年精査（2本立てに変更するかどうかも含めて）していくようにしている。  
B小学校：現在のままの事務職員は「事務に従事する」の方が、幅広く仕事ができるのではないかとと思う。子どものための「学校づくり」を考えるには、教職員（教員）の教育に対する基本的な考えを変えることが必要（そのようなエネルギーなし）

Q：（学校運営計画の中に学校間連携の記述をしていない方にお伺いします。というQに対して、）③（今のところ記述する必要性を感じていない）④（全く考えていない）を回答した方にお伺いします。その理由について、記入してください。

C中学校：現在の連携会議での実践の中で、本校の実践にリンクし、なおかつ運営計画に載せる必要性が感じられるものが、まだない。

D小学校：記述したいが、どのような型が良いか、良くわからない。

E中学校：自分が分かっていないことを書けない。また、理論的な記載だけでは、運営計画にふさわしくないようにも思える。

F小学校：具体的に学校間連携が校長等に認識されるのは、5～10年ぐらいかかると思うし、必要性というか必然性というか、そんな欲求のようなものがない。

G小学校：現在の石狩の状況では、大雑把な記入しかできない。学校間連携の必要性・課題等が見えない中では難しい。

以上のように発表されました。あらためて、この回答を読んでみると、二本立て運営計画をすすめるうえで考えなければならないことが含まれているように思います。

## 2. 改めて私たちの本務とは何かを考える。

予算経理簿について言えば、目的（本務）は、効率的で適正な予算執行や執行状況を全職員へ周知し、理解・確認を得ることであり、特殊勤務手当実績簿について言えば、目的（本務）は局への報告や、個々の教員からの実績の集約・調整なのではないでしょうか。

経理簿や実績簿に記入して管理するという行為は、単なる過程に過ぎません。そんな無意味な過程を効率的に省いて時間を生み出すのが、パソコンの役割であると思います。

（中略）

学校における他の仕事でも、事務職員の本務は作業的な事ではなく、学校財産の把握・管理であったり、学校情報の収集管理・情報漏えいの防止であったり、予算執行・旅費執行の総合調整・請求・現金交付であったり、保護者からの徴収金の厳格な管理や保護者負担の軽減であったりするわけで、パソコンのスキルを上げて過程部分を省けば省くほど余裕が生まれ、事務職員の個々のキャパシティが増える事により、本務に向ける力が増すものと思います。

（平成19年度 石教研課題部会研究集会 情報教育部会のレポートより引用）

### 討論テーマ

- ・何が本務で何が本務外だと考えるのがよいか？
- ・私たちが考える本務を表明する上で、二本立て運営計画は有効だろうか？

## 午後の部その1 テーマ2. 学校財政運営に関する交流

### 1. 校内配分予算・決算は、必要か不必要か

- ・校内配分について、どのように考えどのようにとりくむべきか。

### 2. 備品購入計画の悩み

- ・備品購入計画に、事務職員はどのように係わっていったらよいか。

### 3. その他の財政財務活動

- ・施設設備関係にどのようにかかわっているか、またどのようにかかわるべきか。
- ・校内での予算要望にどのようにかかわっているか、また、どのようにかかわるべきか。

## 午後の部その2 テーマ3. 実務に関する交流（フリートーク）